



わたしの郷土

五木村立五木東小学校 六年 田山 滋賀子

私達の住む五木村は、人吉から三十キロほど山に入った、川辺川の上流にあり、古代の大昔から人が住みついたところで、昔をものがたる、縄文時代の遺跡を、多数見ることが出来ます。また、六百年の昔には、源平の戦いで、両方の兵士が戦い合い、そのまま住みついた地ともいわれ、村のあちこちに、その歴史の跡を残す山里です。村の四方を囲む山々は、大変けわしくそびえたっており、その山肌は、一年中変わりつづけ、特に、春の新緑や、人間の手を借りずに咲き乱れる山々の花、秋のもみじの紅葉はすばらしいものです。

また、びっくりする程たくさんいる昆虫は私達を喜ばせてくれます。夏は、ちょうちゅう、かぶと虫、くわがたが両手いっぱい取れ、せみが耳をふさぎなくなる程、大きな声をはりあげます。秋になると、こおろぎ、すず虫、くつわ虫などが、音楽会を毎晩のように催してくれるのもうれしいものです。

村の産業は、大自然を利用した林業が主であり、村の人達は、男も女も山奥深く仕事に出かけられますが、最近、しいたげ、茶の栽培が盛んになり、今では名産品として、遠く都会まで出荷されるようになりました。

私は、昔の自給自足の苦しい生活の中から豊かな自然を利用し、現在の産業をおこしてきた村の人々に、ねばり強い力強さを感じます。また、私達の村をとり囲んでいる山々の雄大さ、不思議さ、美しさを、一年中見れることを、本当に幸せだと思います。

しかし、こんなすばらしい自然の村にも、ダム建設という、とても大きな問題がおきています。私の生まれ育った家や村、そして美しい自然が、ダムにすぎんでしまいます。日本の歴史をものがたる山里と、日本に数少ない雄大な美しい自然をこわさないで、ダムをつくることはできないものでしょうか。私達の村は、今、こんな大きな問題をかかえて、とても苦しんでいるところです。

もくじ

昭和三十九年度予算三月定例県議会における 知事説明要旨……………	4
主要施策の内容	
・第一 積極的な社会基盤づくり……………	12
・第二 自然の保護と生活環境の整備……………	16
・第三 健康で安定した生活の確保……………	21
・第四 教育・文化の振興……………	27
・第五 地域産業の振興……………	31
(知事と語る)……………兼高かおる(旅行作家)	39
わたしの郷土……………五木村立五木東小学校 六年 田山 滋賀子……………	2

表紙は「肥後一刀彫」―熊本市―
一刀彫りは平刀しか使わない。作
品はすべて面で構成され、抽象化さ
れている。

(訂正) 22号の「この人と
30分」で牛島憲之さんを日
本画家としましたのは洋画
家の誤りです。お詫びして
訂正します。